平成18年3月期 第1四半期財務情報(連結)

平成17年 7 月25日

上場会社名 松下電エインフォメーションシステムズ株式会社

コード番号 4283

U R L http://www.naisis.co.jp/

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 河村 雄良

問合せ先責任者 役職名 取締役経営管理部長 氏名 山村 隆司

上場取引所 東本社所在都道府県 大阪府

TEL(06)-6906-2801

(全類の表示・百万円未満切り捨て)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

米国会計基準採用の有無 : 無

公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

会計処理の方法の最新連結会計年度における方法との相違の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2.平成18年3月期 第1四半期の連結業績概況(平成17年4月1日~平成17年6月30日)

(1)連結経営成績の進捗状況

Ė	当 業	利		经	学	利	

	売 上 高	営 業 利 益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年3月期第1四半期	8,829 (-)	1,234 (-)	1,226 (-)
(参考) 17年3月期	13,895 (-)	1,329 (-)	1,309 (-)
16年11月期	42,108 (15.8)	3,717 (35.0)	3,685 (35.3)

	四半期(当 期) 純	利益	1株当たり四半期(当期)純利益金額	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額
	百万円	%	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	701 (-)	65 81	-
(参考) 17年3月期	775 (-)	72 04	-
16年11月期	2,107	25.9)	195 68	-

- (注)1.売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率
 - 2.平成18年3月期第1四半期は、前期に決算期を3月31日に変更したことにより、対前期比増減率は記載しておりません。
 - 3.平成17年3月期については、決算変更に伴い4か月決算であり、対前期比増減率は記載しておりません。
 - 4.潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2)連結財政状態の変動状況

	総資	金 株 🗄	E資本	株主資本比率	1株当たり株	主資本
	百	i万円	百万円	%	円	銭
18年3月期第1四半期	14,1	110	9,125	64.7	856	37
(参考) 17年3月期	16,1	118	8,538	53.0	800	56
16年11月期	14,0)16	8,104	57.8	758	52

(3)連結キャッシュ・フローの状況

(*)~						
	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同	見金同等物	
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残	高	
	百万円	百万円	百万円	百	万円	
18年3月期 第1四半期	1,293	147	93	4,1	32	
(参考) 17年3月期	641	440	317	3,0	080	
16年11月期	2,271	580	370	4,4	179	

経 営 成 績

1. 平成18年3月期 第1四半期の業績概要

当社グループの第1四半期(平成17年4月~平成17年6月)における我が国経済は、米国を中心とした世界経済の着実な景気回復基調のなかで、国内経済は日中間での緊張や原油価格の再騰など、依然として強弱感が交差する踊り場局面が続いております。

このような環境のなかで、当社グループはITビジネスの総合力を生かしたソリューション提案営業を推進した結果、システムサービス及びシステムソリューションは順調に伸びました。システム機器・通信機器関連では、情報関連工事及びシステム導入支援売上は好調でありましたが、ソフトウェアの周辺機器関連売上は伸びなやみました。

その結果、当社グループの第1四半期連結業績は、売上高は88億2千9百万円となり、利益につきましては、営業利益は12億3千4百万円、経常利益は12億2千6百万円、当期純利益は7億1百万円となりました。

なお、当社は前期に決算期を従来の11月期から3月期に変更しましたので、前年同期比は算出しておりません。

セグメント別の状況

当社グループは、システム運用・通信サービスの提供・システム開発・システム機器の販売等の情報サービス事業を展開しており、単一事業のため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

当第1四半期におけるサービス品目別の営業の状況は次のとおりであります。

1.サービスソリューション部門

システムサービス部門

システムサービス部門は、既存のアウトソーシング受託会社への合理化還元はあったものの、新規のアウトソーシング受注や、新たに営業拡大のために西日本SE部の新設増強によるシステム運用・保守サービス売上が順調であり、併せてASP顧客の増加等により、売上高は56億9千5百万円となりました。

システムソリューション部門

システムソリューション部門は、自社ソフトパッケージの「Metaforce」・「おてがるコールセンター」等の販売、e調達システム関連の受注売上が堅調に推移し、松下電工株式会社向けでは松下電器産業株式会社とのコラボレーション対応によるシステム構築受注売上等により、売上高は11億9千万円となりました。

2.システム機器・通信機器関連部門

システム機器・通信機器関連部門は、情報関連工事及びソリューション売上との相乗効果もあり システム導入支援売上は好調でありましたが、ソフトウェアの周辺機器関連売上は、利益重視への シフトにより伸びなやみ、売上高は19億4千3百万円となりました。

2 . 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米国経済や世界経済の着実な回復に伴って、国内経済は企業の好調さが持続するなかで、設備投資の緩やかな増加や消費者マインドの改善が続くものと思われますが、原油価格の高値水準等による企業業績への懸念も次第に高まりつつあります。

このような状況のなかで、情報通信サービス産業におきましては、情報システム構築、機器販売とも価格 下落傾向が続くものと思われますが、情報投資ではITインフラの整備による効率化が中心でありましたが 次第に企業の経営戦略の一貫として活用し、経営オペレーションの中核としての投資増加が期待されます。

また、インターネットを中核に据えた通信のプロードバンド化が加速しており、「e-Japan」から「u-Japan」(ユビキタスネット・ジャパン)に向かって更なる進展が期待されます。

そのなかで、当社グループは「顧客(中堅・中小企業)の真のビジネスパートナー・松下電工IS」を基本方針として、1.e-Biz(e-ビジネスソリューション) 2.e-Office(e-オフィスソリューション) 3.e-In fra(e-インフラソリューション) を中心に、より総合力を発揮し、システムインテグレータとして一層のソリューション提案活動を推進して参ります。

また、全社を挙げて、原価低減のための合理化にも取り組んで参ります。

平成18年3月期の連結業績は次の通りを見込んでおります。なお、平成17年4月25日決算発表時の予想を 変えておりません。

【中間連結業績見通し】

連結売上高	21,500百万円
連結営業利益	1 , 9 2 3 百万円
連結経常利益	1 ,9 0 0 百万円
連結当期純利益	1.100百万円

【通期連結業績見通し】

連結売上高	45,500百万円
連結営業利益	4 , 0 0 0 百万円
連結経常利益	4 , 0 0 0 百万円
連結当期純利益	2 , 3 0 0 百万円

なお、当社は前期に決算期を従来の11月期から3月期に変更しましたので、前年同期比は算出しておりません。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想に内在するさまざまな不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績見通しと異なる場合がありますのでご承知おきください。

(監査対象外)

連結貸借対照表

(単位:千円)

							<u>(単位:十円)</u>
	平成18年3月期	平成17年3月期			平成18年3月期	平成17年3月期	
科 目	第1四半期末	期末	増減額	科 目	第1四半期末	期末	増減額
(N=	(17.6.30)	(17. 3 .31)		. 4- 1 1	(17.6.30)	(17.3.31)	
(資産の部)				(負債の部)			
流 動 資 産	<u>11,436,956</u>	<u>13,505,626</u>	2,068,669		4,422,463	6,938,638	2,516,175
1現金及び預金	2,084,966	1,958,417	126,548	1 支払手形及び買掛金	2,070,173	4,512,556	2,442,382
2 受取手形及び売掛金	4,513,020	7,738,750	3,225,729	2 未 払 法 人 税 等	459,403	688,233	228,830
3棚 卸 資 産	1,126,962	1,024,202	102,760	3 未 払 金	886,438	1,108,051	221,612
4 繰 延 税 金 資 産	141,530	272,187	130,657	4 未 払 消 費 税 等	110,885	35,212	75,672
5 預 け 金	3,266,761	2,327,508	939,252	5 預 り 金	54,698	86,332	31,633
6そ の 他	303,715	184,559	119,156	6賞与引当金	107,524	392,168	284,644
				7そ の 他	733,339	116,083	617,255
固定資産	2,673,072	2,612,878	60,193	固定負債	556,437	636,505	80,067
1 有形固定資産	392,384	401,039	8,654	1退職給付引当金	522,742	564,022	41,279
(1) 建 物	149,111	150,779	1,668	2長期預り金	33,695	72,483	38,788
(2) 工具器具及び備品	238,711	244,393	5,681				
(3)建 設 仮 勘 定	4,561	5,866	1,304		4 070 004	7 575 444	0.500.040
				負 債 合 計	4,978,901	7,575,144	2,596,243
2 無形固定資産	1,050,437	1,103,455	53,017				
(1)ソフトウェア	803,901	962,157	158,256				
(2)そ の 他	246,536	141,298	105,238	/ /\ *h +t + +t /\ \			
				(少数株主持分)			
				少数株主持分	5,615	4,564	1,051
3 投資その他の資産	1,230,249	1,108,383	121,866				
(1)投資有価証券	333,807	339,921	6,113	(資本の部)			
(2)長期貸付金	877	911	33				
(3) 繰 延 税 金 資 産	723,818	682,910	40,908	資 本 金	1,040,000	1,040,000	-
(4) そ の 他	193,463	106,429	87,034	資 本 剰 余 金	870,800	870,800	-
(5)貸 倒 引 当 金	21,718	21,789	71	利 益 剰 余 金	7,214,712	6,627,996	586,716
				資 本 合 計	9,125,512	8,538,796	586,716
資 産 合 i	† 14,110,029	16,118,505	2,008,475	負債、少数株主持分 及 び 資 本 合 計		16,118,505	2,008,475

(監査対象外)

連結損益計算書

(単位:千円)

						平位.十门)
			平成18年3月期3		平成17年 3	
科	科目		(17.4.1~17		(16.12.1 ~ 17	
			金額	売上比	金額	売上比
				%		%
売	上	高	8,829,463	100.0	13,895,198	100.0
売	上 原 化	西	6,980,891	79.1	11,826,469	85.1
<u>売</u>			<u>1,848,572</u>	<u>20.9</u>	2,068,729	<u>14.9</u>
販 売 費	及び一般管理	費	614,485	6.9	739,657	5.3
<u>営</u>	業 利 益		1,234,087	<u>14.0</u>	1,329,072	<u>9.6</u>
営 業	外 収 記	芷	1,375	0.0	17,120	0.1
(受	取 利 息)	(228)		(1,267)	
(.	そ の 他)	(1,147)		(15,853)	
,		,			, ,	
 営業	● 外 費 月	1	9,192	0.1	36,813	0.3
(支)	(1,911)		(2,757)	
,	法による投資損失	,	(7,278)		(34,026)	
•	その他)	(2)		(30)	
\	. ,, 10	,			(33)	
経	常 利 益		1,226,270	<u>13.9</u>	1,309,379	9.4
<u> ML</u>	113 113 1111		1,220,210	10.0	1,000,010	<u> </u>
特	別損		_	_	65	0.0
		員	(-)		(65)	0.0
	. 臭 庄 冼 来 1	Η.			(03)	
郑 全 笔 :	調整前当期純利益	±	1,226,270	<u>13.9</u>	<u>1,309,313</u>	9.4
<u>176 五定 七子</u>	Hia TF GG 그 201 W.C 4.0 T	<u>ш</u>	1,220,270	10.0	1,000,010	<u>5.7</u>
法人超	住民税及び事業和	ij.	434,194	4.9	674,156	4.8
法人		額	89,749	1.1	143,417	1.0
少数		出	1,051	0.0	2,928	0.0
	1 Lu T wi	ш	1,001	0.0	2,320	0.0
当	期純利益		<u>701,276</u>	<u>7.9</u>	<u>775,646</u>	<u>5.6</u>
=	#10 개 개 교	-	101,270	<u>1.9</u>	<u>110,040</u>	<u>5.0</u>

⁽注)1.平成18年3月期 第1四半期は、前期に決算期を3月31日に変更したことにより、対前期増減額は記載しておりません。

^{2.}平成17年3月期については、決算期変更に伴い4か月決算であります。

(監査対象外)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	교람40년 2 년반 영 4 교 11 변	(十四.113)
	平成18年3月期第1四半期	
	自 平成17年4月1日	自 平成16年12月1日
科目	至 平成17年6月30日	L 至 平成17年3月31日 J
	金額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前当期純利益	1,226,270	1,309,313
2 減価償却費	201,433	289,346
3 貸倒引当金の増減額	71	10,819
4 退職給付引当金の増減額	41,279	68,049
5 受取利息	228	1,267
6 支払利息	1,911	2,757
7 持分法による投資損失	7,278	34,026
8 売上債権の増減額	3,225,800	2,691,636
9 棚卸資産の増減額	102,711	553,752
10 その他の流動資産の増減額	132,363	66,526
11 仕入債務の増減額	2,442,382	1,914,621
12 その他の流動負債の増減額	155,930	157,770
13 その他の固定負債の増減額	38,788	8,421
14 その他	88,562	21,756
小計	1,972,237	141,599
15 利息の受取額	228	1,267
16 利息の支払額	1,911	2,757
17 法人税等の支払額	677,228	782,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,293,326	641,981
 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出	22,439	38,938
2 ソフトウェアの取得による支出	125,076	101,360
3 投資有価証券の取得による支出	0	300,000
4 その他	276	284
投資活動によるキャッシュ・フロー	147,239	440,014
け数活動にトスナムッシュ、フロ		
財務活動によるキャッシュ・フロー	00, 400	047 000
1 配当金の支払額 財務活動によるキャッシュ・フロー	93,493	317,209
別が位割によるキャッンユ・ノロー	93,493	317,209
現金及び現金同等物の増減額	1,052,593	1,399,205
現金及び現金同等物の期首残高	3,080,383	4,479,588
現金及び現金同等物の期末残高	4,132,976	3,080,383

⁽注)1.18年3月期 第1四半期は、前期に決算期を3月31日に変更したことにより、対前期増減額は記載しておりません。

^{2.17}年3月期については、決算期変更に伴い4か月決算であります。